

No.6 : アジア最大級 食品見本市 ～本県企業3社 海外と接点～（令和5年9月26日）

8月17日～19日の3日間、香港コンベンション&エキシビションセンターにおいて、アジア最大級の総合食品見本市「Food Expo PRO 2023」が開催された。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、香港ではこうした食品見本市においては長らく試飲・試食が規制されていたが、今回は試飲・試食が完全に解禁されての本格開催となった。

本見本市においては県がブースを確保し、県内企業3社が出品、県香港事務所が現地でのサポートを行った。出品した県内企業は、大麦ダクワーズで有名な「大麦工房ロア」（足利市）、米粉製粉量が全国トップクラスの「波里」（佐野市）、そしてFOOD TAIPEI 2023の県ブースにも出品した「野州たかむら」（茂木町）の3社である。

大麦工房ロアが出品した大麦ダクワーズには試食を求める来場者が後を絶たず、3日目の一般開放日に行った小売り販売も午前中で完売するほどの人気ぶりであった。見た目からは想像できない柔らかい食感に好印象を持つ方が多く、試食の重要性を改めて感じたところだ。

波里は、主力商品である米粉に加え、金ごま油や生クリームいちご大福を出品した。特に、生クリームいちご大福を試食したイラン人バイヤーが、「イランに輸出できるのか、輸出できないのであれば日本に行ったときに購入できないか」と、熱心に話していたのが印象的であった。

野州たかむらは、べっこうあめをはじめとしたあめ商品を出品した。FOOD TAIPEI 2023と同様に来場者アンケートを実施したところ、香港と台湾で嗜好の違いがはっきり現れるなど、有意義なデータを収集できたようである。

本見本市には69の国・地域から約2万人のバイヤーが参加、3社とも多くの海外バイヤーと接点をもつことができた。今後、成約等の成果につながれば、県としてもうれしい限りである。

県は、海外への販路開拓・拡大を目指す県内企業等を支援するため、見本市出展だけでなくセミナー開催や補助事業など、さまざまな施策を実施している。海外への販路開拓・拡大を検討される際には、ぜひ一度、お気軽に県国際経済課にお問い合わせいただきたい。

（県香港事務所長 卯木啓之）



【Food Expo PROにおける本県ブースの様子
=8月17日、湾仔の香港コンベンション&
エキシビションセンター】